



# 宮前中だより

さいたま市立宮前中学校  
学校通信 No. 5  
令和3年8月26日(木)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

## 『緊張感をもって・・・』

校長 大木 克巳

今年の夏は、感染症の爆発的な拡大による深刻な医療問題、西日本を中心とする豪雨災害など連日心を痛めるニュースの連続でした。2学期が始まります。先日の教育長からのお知らせにもありましたように、宮前中学校でも感染症予防対策を引き続き緊張感をもって進めてまいりますので、生徒・保護者のみなさまもご理解・ご協力をお願いします。私的な話題ですが、1学期末、妻の職場でコロナ陽性者が出ました。関係者のPCR検査を実施したところ、妻の陽性が判明、症状が軽かったので自宅療養を保健所から指示されました。同居する私と娘は濃厚接触者となり、PCR検査を受け自宅待機の指示を受けました。私は保健所に連絡し、妻のホテル療養を要請しましたが、決定するまでに5日かかりました。検査の結果、私と娘は陰性でしたが、妻の隔離2日後に娘が発熱、再度のPCR検査で陽性となり、ホテル療養決定するまで4日かかりました。運よく私は感染しませんが、妻と娘を看病する日々「自分が感染したら誰が看てくれるのか？絶対に感染しない！」という思いで過ごしました。家の中の導線を確認し、アルコール消毒をこまめに行なうなど感染防止に努めました。妻と娘は幸い後遺症もなく元の生活に戻ることができました。8月末現在、感染症を取り巻く状況は更に悪化しています。わが家の経験から「感染症にかからない」「人にうつさない」ためにも、日々の検温・手洗い・うがい、抵抗力を維持するため規則正しい生活をするなど予防対策の徹底を繰り返しお願いします。

一方、明るい話題と言えば、東京オリンピックでの日本選手の活躍は見ている者に勇気と感動を与えてくれました。また、感染症の煩わしさを忘れさせてくれるひと時でもありました。卓球ミックスダブルスの水谷・伊藤ペアのドイツ戦での大逆転勝利に興奮。ソフトボールのカナダ戦、延長タイブレークでの後藤選手の6連続3振は圧巻でした。柔道では阿部兄妹の金メダル獲得、大野選手の圧倒的な強さ、埼玉県出身・新井選手の決勝戦勝利後の笑顔など印象的な場面がたくさんありました。女子バスケットボールの大躍進には驚きました。レスリング女子の活躍も素晴らしかったですね。そんな興奮が冷めない8月24日の読売新聞に、高校総体のレスリングで本校を今年卒業した尾西さんが準優勝した記事が掲載されていました。2、3年生のみなさんは体育祭や合唱コンクールでの彼女の活躍する姿を覚えていることと思います。とにかく明るく、前向きで何事にも全力で取り組む生徒でしたね。次回のオリンピック出場に期待したくなります。

さて、2学期のスタートです。感染症の不安は消えませんが、十分な対策を講じながら授業や行事を行っていきたいと考えています。しかし、今後の状況によっては中止や実施方法の変更を考えなくてはなりません。新人大会、合唱コンクール、駅伝大会、校外学習そして3年生は進路決定に向けて緊張感をもって生活してください。



卒業生尾西さんの活躍を伝える新聞記事